

平成27年度AVCC&KK²特別講演会

地方創生、シニアが主役

今年度のAVCC、KK²事業は「地方創生、シニアが主役」をテーマに取り上げました。超高齢社会は多くの弱者と共生する社会、弱者が安心して暮らせる明るい社会づくりが日本の大きな課題です。今回の特別講演は、基調講演に辻哲夫氏(元厚生労働省事務次官/東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授)をお招きし、超高齢社会の現状と我が国に求められる社会システムについてご提言をいただきます。またGood Practice発表には、石木幹人氏(岩手県立高田病院 前院長/岩手県医療局理事)に登壇いただき、「超高齢社会、先進地域医療の実践」と題し、岩手県気仙地区での高齢者に優しい地域医療の実践と3.11東日本大震災後の地域医療再生についてお話しいたします。元気な高齢者が地域活動に積極的に参加する社会の実現が「地方創生」の原動力となると考えています。

開催日時

2015年 **6/5(金)**
(14:00~17:45)

申込方法

ライブ配信のみの受付です。

- ・視聴環境をご確認の上、事前にwebからお申し込みください。
- ・当日は、13:45から配信開始予定です。
- ・PC、スマートフォンから質問ができます。

参加費

無料です。

参加対象

KK²無料web会員の皆さま

スケジュール

- 14時00分 平成27年度AVCC&KK²事業のご説明/
自立・奉仕・助け合いで地域社会を支える
ナルク「中標津」見廻りたい”の孤独死防止活動」上映
- 14時30分 [基調講演]
「超高齢社会：日本のシナリオ」
講師：辻哲夫氏
(東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授)
- 16時00分 休憩
- 16時15分 [Good Practice発表]
「超高齢社会、先進地域医療の実践」
～岩手県気仙地区での地域医療の実践と復興～
講師：石木幹人氏
(岩手県医療局理事/岩手県立高田病院 前院長)
- 17時45分 終了

問合せ先

- ・一般財団法人高度映像情報センター(AVCC)
TEL:03-3239-1121 / FAX:03-5157-9225
- ・霞が関ナレッジスクエア(KK²)
TEL:03-3288-1921 / FAX:03-5157-9225

講師

辻 哲夫 さん

東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授
元厚生労働省 事務次官



1971年東京大学法学部卒業後、厚生省(当時)に入省。老人福祉課長、国民健康保険課長、大臣官房審議官(医療保険、健康政策担当)、官房長、保険局長、厚生労働省事務次官を経て、2008年4月から田園調布学園大学 教授、2009年4月より東京大学高齢社会総合研究機構 教授を務める。現在、東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授。厚生労働省在任中に医療制度改革に携わった。編著書として、「日本の医療制度改革がめざすもの」(時事通信社)「地域包括ケアのすすめ 在宅医療推進のための多職種連携の試み」(東京大学出版会)「超高齢社会 日本のシナリオ」(時評社)等がある。

石木 幹人 さん

岩手県医療局理事
岩手県立高田病院 前院長 医師・医学博士



1947年生まれ。青森県生まれ。早稲田大学理工学部電気通信学科卒業・同大学院を中退後、東北大学医学部に入学。その後、呼吸器外科医となり、1989年からの岩手県立中央病院(盛岡市)を経て、2004年、陸前高田市にある唯一の総合病院、県立高田病院の院長に着任。着任当時の高田病院は、数億の赤字と医師不足に悩まされていたが、地域住民のニーズに応えるべく、「高齢者に優しい病院」をテーマに高齢者医療の充実をはじめ、訪問診療の強化などさまざまな取り組みを重ねて、黒字へと建て直した。高齢者を対象とした地域医療に手応えを感じていた矢先の2011年3月、被災し、9名の職員、15名の患者、病院機能の全て、そして愛妻を失う。震災直後から、住民に寄り添い、地域のための医療を施し続けた医師としての姿、また日本の未来とも言える、高齢者人口の多い地域で取り組んできた医療の実践について、全国から注目が集まっている。

セミナーのお申し込みはwebから

<http://www.kk2.ne.jp/biz01/spc058-2.html/>

※webからのお申し込みにはお手数ですが、KK²無料web会員登録が必要です。

